

福島県農業総合センター農業短期大学校

アグリカレッジ福島

FUKUSHIMA AGRICULTURAL COLLEGE

令和7年度
学校要覧



福島県農業総合センター農業短期大学校
(愛称：アグリカレッジ福島)

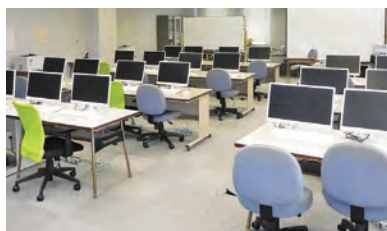
〒969-0292 福島県西白河郡矢吹町一本木446番地 1
Tel 0248-42-4111(代) Fax 0248-44-4553
E-mail nougyou.noutan@pref.fukushima.lg.jp

アグリカレッジ福島

検索



本館及び研究実験棟



情報処理演習室



農産加工技術センター



屋外作業準備棟



アグリ探求棟



学生寮(男子寮)



屋外作業準備棟 洗面室・シャワー室



学生寮(女子寮)



牛 舎



園芸施設



運転練習コース

■ 学 校 沿 革

- 昭和10年3月 福島県立修練農場として設置
 18年4月 福島県^{やぶきがはら}矢吹原修練農場
 23年4月 福島県^{やぶきがはら}矢吹原実験農場
 25年4月 福島県^{やぶきがはら}矢吹原経営伝習農場
 49年4月 福島県農業経営研修所 矢吹教場
 54年4月 福島県農業経営大学校
 63年4月 福島県立農業短期大学校 ※1
 平成18年4月 福島県農業総合センター農業短期大学校 ※2
 20年4月 専修学校化（専門課程・本科のみ）
 29年4月 学部名称変更・学科再編

※1 福島県農業短期大学校（福島市荒井）、福島県農業経営大学校（矢吹町）及び福島県会津農業センター長期研修課程（会津坂下町）の県内3研修機関を発展的に統合し、県内唯一の農業者教育施設として開校。

※2 福島県農業総合センター（郡山市日和田町）開所に伴い、県内試験研究機関と教育機関が再編統合され、校名変更。



農業経営部

水田経営学科

修業期間：2年

定員：1学年60名

野菜経営学科

水田・野菜経営学科：15名程度

果樹・花き・畜産経営学科：10名程度

果樹経営学科

受験資格：

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者(見込含む)
 - (2) 高等学校を卒業した者と同等の学力があると認められる者
- ※一般入校試験では「社会人等」の入試区分も設けています。

花き経営学科

本校は、学校教育法に基づく専修学校に位置付けられています。

畜産経営学科

- (1) 卒業生は「専門士(農業専門課程)」の称号が付与されます。
- (2) 四年制大学への編入学試験を受験することができます。
- (3) 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金の利用が可能です。

■ 教育目標

実践的な農業の技術力と優れた経営力を備えた地域のリーダーとなる農業者を育成する。

■ 教育の方向

- 1 農業経営の実践に必要な知識及び技術に関する教育を行う。
- 2 地域をリードする農業経営者に必要となる経営管理に関する教育を行う。
- 3 国際的な視野に立ち農業情勢の変化に対応できる農業経営に関する教育を行う。

■ 教育の特色

1 一般教養に加え、農業経営に関する基礎的知識の習得

学生の動向や時代のニーズを踏まえ、基礎学力レベルに応じ、きめ細かな指導により学習意欲を高めるとともに、各分野における専門家や有識者を講師として教養科目を履修し、幅広い教養を身に付けます。また、就農への動機付けと自家就農又は農業法人就職など進路に応じて先進的な経営者から実践内容を直接見聞することにより、農業経営の実践に必要なマネジメント能力を養成します。

2 農業に関する知識及び技術の習得

(1) 農業の基礎的知識及び技術の早期習得

非農家出身者や高校の農業課程以外からの入校生に配慮し、農学の基礎及び経営管理に関する基礎を入校当初から履修します。また、実習を通じて基礎的作業や農機具の使用法、さらには栽培管理や飼養方法について習得します。指導的立場にある農家において先進農家等留学研修を実施し、生活や農作業を体験することで農業経営全般についての理解を促進します。

(2) 専門的知識及び技術の習得

専門科目については、基礎から応用へと体系的に学習します。また、生産分野のみならず、加工技術や商品開発、さらには直接販売の実習を通じて地域産業6次化について学習します。

(3) 農業経営に必要な免許・資格の取得

農業経営を実践する上で必要となる免許や資格を幅広く習得します。

3 経営シミュレーションによる総合的な実践力の習得

現場の課題から卒業論文テーマを設定し、自ら生産から販売まで一連のプロジェクトとして取り組み、経営シミュレーションの手法も取り入れながら総合的な農業経営を実践する力を習得します。

4 地域農業をけん引するために必要な知識の習得

地域資源活用法の習得や、地域内連携のために必要となるコミュニケーション能力について習得します。

5 国際化に対応した幅広い視野の習得

国際化など農業情勢の変化に対応する必要があることから、先進的な経営者の実践事例の研究や海外農業の視察などを通して、幅広い視野を身に付けます。



水田経営学科

定員：15名程度

稲、麦類、大豆、いも類など、食用作物を主体とした土地利用型農業で必要になる専門知識や技術、経営管理について学びます。



水稻収穫



地域の子供たちにサツマイモ苗の植付指導



小麦収穫

主な作物

水稻・麦類・大豆・ジャガイモ・サツマイモ

主な実習内容等

4月	水稻育苗、ジャガイモ植付
5月	水稻移植、麦類出穂調査、サツマイモ植付
6月	水稻除草、大豆播種、麦類収穫、畦畔管理
7月	水稻追肥、大豆播種、ジャガイモ収穫、畦畔管理
8月	水稻出穂調査、大豆病害虫防除、ソバ播種、畦畔管理
9月	水稻収穫、大豆病害虫防除、畦畔管理
10月	水稻収穫、サツマイモ収穫、麦類播種
11月	ソバ収穫、大豆収穫、収穫調査、品質調査
12月	土壌分析演習、加工演習、卒論設計開始（1学年）
1月	卒論完成（2学年）
2月	卒論設計完成（1学年）
3月	種子準備、肥料・農業計算

1 学年では、講義と実習を通して食用作物の栽培や加工に関する基礎知識を身につけます。

また、水田の高度利用やスマート農業技術についても学びます。

2 学年では、稲または畑作物を研究対象にした卒業研究に取り組みます。

卒業研究を通して、農業技術の総合的理解を深め、課題解決能力や論理的思考力を習得することを目指します。



野菜経営学科

定員：15名程度

県内の野菜生産を担う人材を育成するため、県内の主要な施設・露地野菜を中心に、生産販売に必要な知識・技術・経営管理を学びます。



接ぎ木作業



GAPに基づいた出荷調整



トウモロコシの収穫作業



マルチはりの作業中

主な作物

トマト、キュウリ、アスパラガス、ブロッコリー、ホウレンソウ、ネギ、タマネギ

主な実習内容等

4月	収穫調製(促成トマト・アスパラガス等)、育苗・ほ場準備(春夏作)
5月	収穫調製(促成トマト・キュウリ)、ほ場準備・定植(夏秋トマト・キュウリ)
6月	夏秋野菜の肥培管理・収穫調製
7月	夏秋野菜の肥培管理・収穫調製、育苗(秋作)
8月	夏秋野菜の肥培管理・収穫調製、ほ場準備・定植(秋作)
9月	夏秋野菜の肥培管理・収穫調製、播種・育苗(秋冬作)
10月	夏秋野菜の肥培管理・収穫調製、定植(秋冬作)
11月	秋冬野菜の収穫調製、定植(促成トマト)、播種(葉菜類)
12月	卒論計画作成、収穫調製(葉菜類)
1月	卒論計画作成、育苗(促成キュウリ)
2月	卒論品目の栽培準備、接木・定植(促成キュウリ)
3月	卒論品目の栽培準備、育苗(春定植用)

1 学年では、講義と実習を通じて基礎的な技術・知識を習得するとともに、GAP（農業生産工程管理）について学び、また、各種研修等により先進技術を学習します。

2 学年では、専門的な講義と実習により高度な知識、技術を身に付けることに加え、卒業論文研究を通して、情報収集、課題解決、データ分析、論理的思考等の各能力を醸成して実践力を身に付けます。



果樹経営学科

定員:10名程度

果樹の専門的な知識、技術及び経営管理の習得により、県内の果樹産業を担う人材を育成します。



ナシの収穫



ナシの選果



ブドウのジベレリン処理

主な作物

モモ、二ホンナシ、ブドウ、カキ、リンゴ

主な実習内容等

4月	接ぎ木(切り継ぎ)、防霜対策、貯蔵花粉発芽率調査、花の採取・開花、花粉の貯蔵
5月	着果管理、予備摘果、仕上げ摘果
6月	リンゴ・モモ・ナシ果実品質調査(収穫まで)、樹相診断、ナシ予備枝誘引
7月	修正摘果、出荷調整(ふじ収穫まで)、モモ果実品質調査、ナシ防鳥対策
8月	ブドウ・ナシ果実品質調査、リンゴ防鳥対策
9月	接ぎ木(芽接ぎ)、礼肥施肥
10月	カキ果実品質調査
11月	リンゴ果実品質調査、基肥施肥
12月	花芽分化率調査、接ぎ穂採取・保存
1月	モモ、ナシ、ブドウ、カキ、リンゴの整枝、せん定
2月	モモ、ナシ、ブドウ、カキ、リンゴの整枝、せん定
3月	土壌改良資材散布、モモ摘らい

樹種複合経営と高品質果実の安定生産の実現に向け、モモ、ナシ、ブドウ、カキ、リンゴの栽培方法と販売方法を2年間で習得します。

また、ブドウとカキで取り組んでいるGAPについて、実践を通してその手法を身に付けます。



花き経営学科

定員:10名程度

県内の主要花きを中心に花き経営に必要な専門的知識、技術および経営について学びます。



苗物のかん水



キクの選花



マルチャー畝立て



花束作り

主な作物

キク、宿根カスミソウ、ダリア、キンギョソウ、苗物、シクラメン

主な実習内容等

4月	一年草播種、キクさし芽、シクラメン鉢上げ
5月	定植ほ場準備、一年草・キク・球根類定植
6月	切り花収穫(宿根カスミソウ等)、シクラメン鉢上げ、苗物出荷
7月	切り花収穫(キク等)
8月	切り花収穫(キク、ダリア等)
9月	切り花収穫(キク、ダリア等)
10月	苗物・シクラメン出荷、切り花収穫(キンギョソウ等)
11月	シクラメン出荷、球根類の堀上げ・貯蔵、キク親株準備
12月	シクラメン播種、切り花収穫(キンギョソウ等)
1月	切り花収穫(キンギョソウ等)
2月	切り花収穫(キンギョソウ等)、シクラメン育苗、枝物促成
3月	切り花収穫(キンギョソウ等)、キクさし芽、土壌分析

1学年では、切り花・鉢花・苗物の栽培に必要な基本技術・知識を習得し、環境制御装置等を活用した開花調節や収量向上技術、花きの品質向上のための花き日持ち認証の取り組みなどを学びます。

2学年では、卒業論文研究で問題解決能力を高めるほか、花きに関する先進技術や流通、経営について学びます。



畜産経営学科

定員：10名程度

自家就農や農業法人への就職により畜産経営を実践する人材を育成します。

主な家畜

乳用牛、肉用牛



飼料用トウモロコシ収穫作業



牛体測定



搾乳作業



飼料給与

主な実習内容等

4月	肥育素牛導入 トウモロコシの播種	家畜の飼養管理 飼料給与 健康状況の観察 搾乳 発情兆候と行動観察 分娩の兆候と介助 除ふん 牛の保定とけん引 投薬 牛体測定 子牛・廃用牛の出荷 飼料の種類と調製 畜舎の環境美化
5月	肥育牛除角 1 番草収穫	
6月	2 番草収穫	
7月	暑熱対策	
8月	トウモロコシの収穫	
9月	家畜の審査	
10月	牧草播種 稲わら収集	
11月	肥育牛出荷	
12月	寒冷対策、削蹄	
1月	わら収納	
2月		
3月		

自家就農や農業法人への就職により農業経営を実践する人材を育成するため、乳用牛、肉用牛を対象とした家畜の飼養管理をはじめとして、自給飼料生産、耕種部門との連携、安全・安心な畜産物生産など、畜産経営に必要とされる専門的な知識や技術を学び、幅広く習得します。また、家畜人工授精師の資格取得を目指します。

～在校生からのメッセージ～ 私たちと農業を学びませんか？

「私の地元に農業の力で光を与えたい。」そう思い、私はアグリカレッジ福島に入学しました。

野菜経営学科では、夏にはトマトやキュウリ、秋冬にはレタスやハクサイなどを栽培しています。

就職活動や資格取得のためのサポートも充実しているので、農業について全く知らないという方でも安心して学校生活を過ごせます。あなたがこの学校を卒業する頃には、太陽と雨の恵みを受け、友の手を取り、植物の声を聞くことができるでしょう。



野菜経営学科 橋本 圭祐



畜産経営学科 佐藤 皇

農業高校出身の私ですが、この学校に進学してから初めて畜産を学び始めました。不安なことも多々ありましたが、丁寧に指導してくださる先輩方、とても頼りになる仲間のおかげで、充実した学校生活を送っています。2年間という短い期間ですが、1 から農業を学び、様々なことを経験することができるのがこの学校の魅力の1 つです。農業に興味があるという気持ちだけで大丈夫です。ぜひここで農業を学んでみませんか？



主な年間行事



球技大会



植付祭



先進農家等留学研修



直売実習



粳隆祭



収穫祭



意見発表会



卒業論文発表会



海外農業研修

年間行事予定

月	前 期	月	後 期
4	始業式 入学式	10	始業式 粳隆祭
5	卒業論文設計発表会 スポーツ大会	11	収穫祭 球技大会 意見発表会
6	植付祭 学生自治会総会 学生寮自治会総会	12	卒業論文発表会 学生自治会総会 学生寮自治会総会 冬期休業
7	学校記念日 オープンキャンパス	1	東日本農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会
8	夏期休業 オープンキャンパス	2	全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会 後期試験
9	前期試験 先進農家等留学研修	3	卒業記念講演 卒業式 春期休業

学生の1日

	寮 生	通学生
7:00	起 床	登 校 授業準備
7:45 ～ 8:20	朝 食	
8:20 ～ 8:50	授業準備	
8:50～10:20	授業(1校時)	
10:30～12:00	授業(2校時)	
12:00～12:45	昼 食	
13:10～14:40	授業(3校時)	
14:50～16:20	授業(4校時)	
16:30～17:15	補講(5校時)、課外活動 (クラブ、自治会活動ほか)	
17:45～18:30	夕 食	帰 宅
18:30～21:45	自由時間(入浴、自主学習、バイト等)	
23:00	門 限	
23:30	就 寝	

■ 履修科目（令和7年度～）

教養科目	共通	数学基礎、国語表現、体育、英語コミュニケーション、農業と情報、福島の農業、特別講義	285時間
	択一選択	就農講座Ⅰ・Ⅱ or 農業法人等就職講座Ⅰ・Ⅱ	
専門科目	共通	農業経営、農業法規、農業関連産業論、簿記概論、農業情勢、土壌肥料概論、農業機械、農業機械基礎実習、農業機械操作実習Ⅰ、マーケティング論、鳥獣害対策、食品製造、スマート農業実践、GAP概論、卒業論文	480～705時間 (うち、実習90～225時間)
	自由選択	毒物劇物取扱者資格講座、簿記検定講座、刈払機・アーク溶接安全衛生教育、フォークリフト運転技能講習、農業機械操作実習Ⅱ、進路対策講座	
	水田 野菜 果樹 花き 学科共通	農業概論、病害虫基礎、植物生理、環境保全と農業、有機農業、農産物流通、農学実験	
	水田	先進農家等留学研修、水田経営研修、作物経営実習、水田経営基礎、水田経営応用、水田経営実践、食品製造演習	1,635時間 (うち、実習1,350時間)
	野菜	先進農家等留学研修、野菜経営研修、野菜経営実習、野菜生産概論、野菜栽培各論、野菜経営各論、食品製造演習	
	果樹	先進農家等留学研修、果樹経営研修、果樹経営実習、果樹生産概論、果樹栽培各論、果樹経営各論、食品製造演習	
	花き	先進農家等留学研修、花き経営研修、花き経営実習、花き生産概論、花き栽培各論、花き経営各論、フラワーデザイン演習	
	畜産	畜産概論、家畜育種学、家畜繁殖学Ⅰ・Ⅱ、家畜栄養学、家畜衛生学、畜産環境保全、家畜解剖生理学、家畜解剖実験、先進農家等留学研修、畜産経営研修、畜産経営実習、飼養管理基礎、飼料作物、食品製造演習	
	(択一選択)	乳用牛飼養管理技術応用、乳用牛経営 or 肉用牛飼養管理技術応用、肉用牛経営	

■ 実践学習体系（経営実習・卒業論文）

主体的に学習に取り組むため、一人一農場・区画を基本とし生産から販売まで一連の過程を実践するプロジェクトにより農業経営力を身につける学習を展開します。その成績を卒業論文としてまとめ、経営者感覚を磨きます。

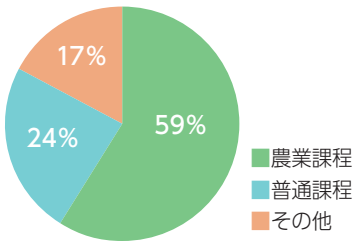
1 学年		2 学年	
4～6月(適応力養成期間)	7～3月(実践力養成期間)	4～6月(実践力アップ期間)	7～3月(総括期間)
教育目標 自主性の養成 (自立心と協調性の醸成) 到達目標 実践を通して学習の目標を持つ (1)経営学科実習を通し、農業の基礎を学ぶ (2)実践学習の特徴を理解し、目標を持つ	教育目標 主体性・実践力の養成 (学習意欲の高揚) 到達目標 農業の魅力を実感し将来の経営目標を設定 (1)プロジェクト学習の基礎を学ぶ (2)学習のまとめ、分析の基礎を学ぶ (3)海外農業研修で国際感覚を養う	教育目標 豊かな人間性と主体性の確立 (リーダーシップの確立) 到達目標 主体的な取組により、実践学習の効果を高める (1)卒業論文を通じ、農業者としての課題解決手法を位置づける (2)卒業論文の作成や先進農業者事例を学び、経営感覚を養う	教育目標 実践力のある農業者の育成 到達目標 優れた経営感覚の醸成 (1)卒業論文のとりまとめ、発表
●基礎実習 経営学科ごとに、ほ場、施設を活用しての基本技術の習得を重点的に行います。 ●先進農家等留学研修 先進的な農業を実践している農業者・農業法人の経営や技術、生活を2週間かけて実際に体験することで、農業に対する取組や考え方を直接肌で感じ取り、豊かな農業観や職業観を学びます。 ●海外農業研修 海外での多様な農業経営を調査し、将来の農業経営の礎とするため、海外農業研修を実施しています。 (過去実績) R6年度 ニュージーランドまたはタイ（6日間） ●卒業論文設計 2 学年による卒業論文発表の聴講・質疑を通して卒業論文への理解を深め、実家の営農や地域農業の現状、技術動向を踏まえ、論文計画を作成します。		●企画研修 学生自身が企画立案し、県内外の先進的な取組や流通・販売、さらには関係機関や施設等を見学することにより農業に関する幅広い知識を習得します。 ●卒業論文研究 ●データ収集 ●中間検討会 ●卒業論文発表会 専門科目、経営実習等で学んだ専門知識、技術の集大成として卒業論文の執筆に取り組み、自己解決能力を醸成するとともに、発表会を通して自己表現能力を養います。 卒業論文発表会では、「東日本農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会」に出席する代表者を選定します。	

学生概況・学生数 ()内は女子

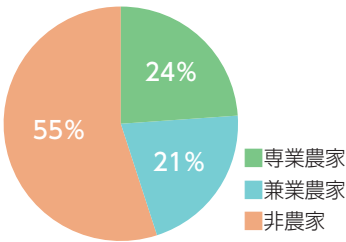
	水田経営学科	野菜経営学科	果樹経営学科	花き経営学科	畜産経営学科	合 計
1 学年	16 (2) 名	16 (5) 名	11 (3) 名	8 (3) 名	6 (2) 名	57 (15) 名
2 学年	7 (1) 名	15 (4) 名	7 (3) 名	5 (4) 名	7 (0) 名	41 (12) 名
合 計	23 (3) 名	31 (9) 名	18 (6) 名	13 (7) 名	13 (2) 名	98 (27) 名

学生内訳

①出身高校課程別



②農家・非農家別



③出身地域別

区分		人数	区分		人数
県内	県 北	35 名	県外	茨城県	1 名
	県 中	23 名		栃木県	1 名
	県 南	10 名		東京都	1 名
	会 津	13 名		埼玉県	1 名
	南会津	0 名		神奈川県	2 名
	相 双	4 名			
	いわき	7 名			

令和6年度までの卒業生 ()内は女子

本 科	1,954 (455) 名
研究科*	107 (18) 名

※平成28年で廃止

卒業生の進路(過去3年間)

卒業後の進路	卒業年度	就 農			就 職					進学	その他	合 計
		自 家	法 人	研 修	農業団体・農協	関連産業	他産業	公務員	臨時職員・大学等			
	令和6年度	5 名	21 名	2 名	3 名	9 名	6 名	4 名	0 名	0 名	3 名	53 名
	令和5年度	5 名	16 名	0 名	3 名	12 名	4 名	4 名	0 名	1 名	0 名	45 名
	令和4年度	9 名	11 名	0 名	7 名	15 名	3 名	2 名	0 名	0 名	1 名	48 名

就 農	自 家	県内各地
	法人等	(株) I love ファームおだか、会津農匠(株)、あかい菜園(株)、(農) グリーンカルチャー、(株) 紅梅夢ファーム、(福) こころん、(株) 佐久間牧場、(株) 佐藤農場、(株) 塩田ファーム、(有) 旬彩ファーム、(有) スカイファームおざき、(株) 東西しらかわグリーンファーム、(株) なかた農園、成田牧場、(有) 仁井田本家あぐり、(株) ネクストファームいわき、(株) ビーフジャパン、(農) ひかり、(有) 光、ピクアジェネティクス(株)、福島舞台ファーム(株)、(株) ベレシュ、ベルグアース(株)、ベルグ福島(株)、(株) ペルファーム、マルヤス産業(株)、美土里耕産(株)、(株) 山市農産、(株) 吉野家ファーム福島、渡辺果樹園
	研 修	チャルジョウ農場、第三者継承を見込んだ研修生
農協・農業団体		J A 会津よつば、J A 全農福島、J A ふくしま未来、J A 夢みなみ、J A 福島さくら、(一社) 穀物検定協会、(株) 全農ビジネスサポート、N O S A I 福島、(公社) 福島県畜産振興協会、福島県酪農業協同組合
農業関連産業		J A ライフクリエイト、会津天竺醸造(株)、(株) エイジェック、グラントマト(株)、コープ食品(株)、(株) 郡山大果青果、(株) コメリ、スガノ農機(株)、(株) ダイユーエイト、(株) 東北むらせ福島工場、(株) 原町中央青果市場、(株) 福島県食肉流通センター、(株) 南東北クボタ、ヤンマーアグリジャパン(株)、酪王協同乳業(株)
他 産 業		(株) I D O M (ガリバー)、上新電機株、ゼビオ(株)、(株) タイヨー、ツルハホールディングス(株)、(株) 帝装化成、日本精工(株)、東洋ワークセキュリティ(株)、(株) 日向、平和交通(株)、(株) ペルワット、(株) ライフランド
公 務 員		(独法) 家畜改良センター、(独法) 農研機構、福島県公立学校実習助手、福島県農場管理員
進 学		放送大学

アグリカレッジ福島 Q&A

Q 受験を考えているのですが、学校の見学は可能ですか？ A 土・日・祝祭日、学校行事日を除いていつでも可能ですが、前もって御連絡いただきますようお願いいたします。ほか、オープンキャンパスを7/12（土）、7/25（金）、8/3（日）の3日間開催予定です。ぜひお申込みください。 (担当：農業経営部教務管理 TEL 0248-42-4113)	Q 食事について教えてください。 A 令和7年度は食堂改修のため使用できませんが、令和8年より再開予定です。食堂では朝、昼、夕の指定時刻に利用することができます。ただし、土曜日、日曜日、祝祭日、学校指定休日のほか、週明け最初の朝食と週末の夕食の提供はありませんので、各自で用意する必要があります。																																													
Q 私の家は農家ではなく、農業の知識ありませんが、入学できますか？ A 大丈夫です。令和7年4月時点で、55%の学生が非農家出身です。農業を知らなくても卒業までに農業の知識、技術が習得できるよう段階的なカリキュラムを組んでいます。1学年の前期には作物・園芸・畜産の概論など、農業の入門的な科目から始め、併せて農機具の使用方法、施肥の仕方など農業の基本となる実習を行います。後期からは各専門分野の科目履修が始まり、2学年では専門分野の講義、実習となります。	Q インターネットは使用できますか？ A 学生寮・学生ホールに学生用 Wi-fi を整備しており、無料で利用できます。																																													
Q 私の家は福島県外ですが、入学はできますか？ A 福島県外の方でも入学可能です。	Q 自家用車の持込はできますか？ A 寮生・通学生ともに持ち込むことができます。ただし、持込みに際しては学校の許可が必要です。																																													
Q 受験の手続きはどうすればいいですか？ A 詳しくは学生募集要項を御確認ください。募集要項については本校ホームページの他、県内各高等学校又はお近くの農林事務所農業振興普及部、農業普及所にお尋ねください。	Q 海外農業研修について教えてください。 A 海外農業研修については選択制で実施しています。令和6年度はタイまたはニュージーランドで実施しました。海外農業研修を選択した場合は下記所要経費とは別に、行き先にもよりますが約35～50万円ほど必要です。																																													
Q 学生寮について教えてください。 A 本校は、入寮を希望する学生が入寮できる寮があります。令和7年より新しい寮に移行し、全110室（男子寮3棟、女子寮2棟）あります。寮は1人部屋でエアコン付き、このほかに共同の浴室、トイレ、洗面室、キッチン、談話室があります。 充実した寮生活を過ごせるよう学生寮自治会という学生自治組織が主体となり運営されています。																																														
Q 入学金や授業料、在学中にかかる所要経費はどのくらいですか？ <table><tr><td>A</td><td><table><tr><th>学年</th><th></th><th>入校料</th><th>授業料</th><th>学習経費※1</th><th>後援会・同窓会</th><th>食費</th><th>自治会費 月1800円</th><th>寮費 (月額)</th><th>寮諸経費※2 月20,000円</th><th>計</th></tr><tr><td rowspan="2">1学年</td><td>寮生</td><td rowspan="2">5,650円</td><td rowspan="2">118,800円</td><td rowspan="2">348,000円</td><td rowspan="2">60,000円</td><td>240,000円</td><td rowspan="2">21,600円</td><td>18,500円</td><td>240,000円</td><td>1,052,550円</td></tr><tr><td>通学生</td><td>120,000円</td><td>—</td><td>—</td><td>674,050円</td></tr><tr><td rowspan="2">2学年</td><td>寮生</td><td rowspan="2">—</td><td rowspan="2">118,800円</td><td rowspan="2">151,400円</td><td rowspan="2">60,000円</td><td>220,000円</td><td rowspan="2">21,600円</td><td>18,500円</td><td>220,000円</td><td>810,300円</td></tr><tr><td>通学生</td><td>110,000円</td><td>—</td><td>—</td><td>461,800円</td></tr></table></td></tr></table> 直近の徴収額を基にした概算です。経費の納入は、1年分を一括もしくは分割で納めていただきます。 ※1 校外研修費、教材費、被服費、資格取得費用、保険等 ※2 寮自治会費（月5,000円）、光熱水費（実費）等。新施設のため、光熱水費については見込であり、不足・超過があった場合は後期の経費徴収時に調整します。 ※3 学習経費、食費、寮諸経費（光熱水費等）は預かり金です。残額があれば卒業時に返金します。		A	<table><tr><th>学年</th><th></th><th>入校料</th><th>授業料</th><th>学習経費※1</th><th>後援会・同窓会</th><th>食費</th><th>自治会費 月1800円</th><th>寮費 (月額)</th><th>寮諸経費※2 月20,000円</th><th>計</th></tr><tr><td rowspan="2">1学年</td><td>寮生</td><td rowspan="2">5,650円</td><td rowspan="2">118,800円</td><td rowspan="2">348,000円</td><td rowspan="2">60,000円</td><td>240,000円</td><td rowspan="2">21,600円</td><td>18,500円</td><td>240,000円</td><td>1,052,550円</td></tr><tr><td>通学生</td><td>120,000円</td><td>—</td><td>—</td><td>674,050円</td></tr><tr><td rowspan="2">2学年</td><td>寮生</td><td rowspan="2">—</td><td rowspan="2">118,800円</td><td rowspan="2">151,400円</td><td rowspan="2">60,000円</td><td>220,000円</td><td rowspan="2">21,600円</td><td>18,500円</td><td>220,000円</td><td>810,300円</td></tr><tr><td>通学生</td><td>110,000円</td><td>—</td><td>—</td><td>461,800円</td></tr></table>	学年		入校料	授業料	学習経費※1	後援会・同窓会	食費	自治会費 月1800円	寮費 (月額)	寮諸経費※2 月20,000円	計	1学年	寮生	5,650円	118,800円	348,000円	60,000円	240,000円	21,600円	18,500円	240,000円	1,052,550円	通学生	120,000円	—	—	674,050円	2学年	寮生	—	118,800円	151,400円	60,000円	220,000円	21,600円	18,500円	220,000円	810,300円	通学生	110,000円	—	—	461,800円
A	<table><tr><th>学年</th><th></th><th>入校料</th><th>授業料</th><th>学習経費※1</th><th>後援会・同窓会</th><th>食費</th><th>自治会費 月1800円</th><th>寮費 (月額)</th><th>寮諸経費※2 月20,000円</th><th>計</th></tr><tr><td rowspan="2">1学年</td><td>寮生</td><td rowspan="2">5,650円</td><td rowspan="2">118,800円</td><td rowspan="2">348,000円</td><td rowspan="2">60,000円</td><td>240,000円</td><td rowspan="2">21,600円</td><td>18,500円</td><td>240,000円</td><td>1,052,550円</td></tr><tr><td>通学生</td><td>120,000円</td><td>—</td><td>—</td><td>674,050円</td></tr><tr><td rowspan="2">2学年</td><td>寮生</td><td rowspan="2">—</td><td rowspan="2">118,800円</td><td rowspan="2">151,400円</td><td rowspan="2">60,000円</td><td>220,000円</td><td rowspan="2">21,600円</td><td>18,500円</td><td>220,000円</td><td>810,300円</td></tr><tr><td>通学生</td><td>110,000円</td><td>—</td><td>—</td><td>461,800円</td></tr></table>	学年		入校料	授業料	学習経費※1	後援会・同窓会	食費	自治会費 月1800円	寮費 (月額)	寮諸経費※2 月20,000円	計	1学年	寮生		5,650円					118,800円		348,000円	60,000円	240,000円	21,600円	18,500円	240,000円	1,052,550円	通学生		120,000円					—		—	674,050円	2学年	寮生	—	118,800円	151,400円	60,000円
学年		入校料	授業料	学習経費※1	後援会・同窓会	食費	自治会費 月1800円	寮費 (月額)	寮諸経費※2 月20,000円	計																																				
1学年	寮生	5,650円	118,800円	348,000円	60,000円	240,000円	21,600円	18,500円	240,000円	1,052,550円																																				
	通学生					120,000円		—	—	674,050円																																				
2学年	寮生	—	118,800円	151,400円	60,000円	220,000円	21,600円	18,500円	220,000円	810,300円																																				
	通学生					110,000円		—	—	461,800円																																				
Q 奨学金の利用や、授業料の減免等の措置は受けられますか？ A (1) 日本学生支援機構の奨学金を利用することができます。 (2) 本校を卒業後、1年以内に農業経営を開始する、又は農産物を生産する会社に勤める等、条件を満たす場合は新規就農者育成総合対策（就業準備資金）の給付を在学中に受けることができます（年間最大150万円、最長2年間）。 (3) 以下に該当する場合、入校料及び授業料が減額又は免除される場合がありますので御相談ください。 ① 子供3人以上の世帯の学生 ② 平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波、令和元年度台風により甚大な被害を受けたと認められた方 ③ 大学等における修学支援に関する法律による認定（授業料等減免対象者の認定）の申請をした方																																														

研修部

一般農業者及び就農を目指す方を対象とした研修を実施しています。

就農研修

初級

中級

長期就農研修

農産加工研修

基礎

応用

技術

農業機械研修

安全運転技術総合コース

技術向上コース

現地支援研修



就農研修(初級)



農産加工研修



農業機械研修

公開講座などもありますので、ホームページで御確認ください。問い合わせ先：研修部 TEL：(0248) 42-4114

新施設が完成しました！

アグリ探求棟

臨場感が伝わる スマート農業研修室

スマート農業関連機械・機器を
展示できるホール。
3D プロジェクタ導入により
動作が体験できる講義スタイル



屋外作業準備棟

通学生が利用可能なシャワールーム、ランドリースペースを併設



学生寮・一般宿泊棟

男女別、一人部屋の学生寮、研修宿泊施設



■ 施設・配置

1 面積

建物敷地	5.9ha
ほ場	25.9ha
水田	7.4ha
普通畑	2.9ha
樹園地	2.7ha
牧草地	12.9ha
山林	9.8ha
その他	10.5ha
計	52.1ha

2 主な施設

学習施設	本館(教室、教養ホール、視聴覚教室、講師室、職員室、事務室、会議室) アグリ探求棟(クリエイティブホール、ゼミ室)、屋外作業準備棟 研究実験棟(各学科室、学科教室(ゼミ室)、実験演習室) 多目的学習棟(図書室、情報処理演習室、学生ホール) 男子寮、女子寮、一般宿泊棟、食堂、体育館
実習施設	実習教育棟、作業棟、機械格納庫、果実選果場、 温室(養液栽培・育成栽培管理)、パイプハウス、畜舎(乳牛・肉牛・肥育牛)
研修施設	農業機械実習棟(整備実習室)、トラクタ運転練習コース、農産加工技術センター



■ アクセス



令和7年度オープンキャンパス

第1回	第2回	第3回
R7.7.12(土)	R7.7.25(金)	R7.8.3(日)
お問合せ先: 農業経営部教務管理 (0248-42-4113)		

令和7年度擲擲祭

R7.10.26(日)

令和8年度学生募集(予定)

	願書受付	試験日
推薦入試	R7.10.1(水)~15(水)	R7.10.31(金)
一般入試(前期)	R7.11.20(木)~12.8(月)	R7.12.16(火)
一般入試(後期)	R8.1.15(木)~30(金)	R8.2.10(火)



アグリカレッジ福島

〒969-0292 福島県西白河郡矢吹町一本木446番地 1
Tel 0248-42-4111(代) Fax 0248-44-4553
E-mail nougyou.noutan@pref.fukushima.lg.jp



学生募集や大学校生活に関する質問など、お気軽にお問合せください。
受付時間/8:30~17:15
土日祝日・年末年始を除く